

青果物輸送における衝撃対策の新展開

技術の特徴

- ・ 青果物の繰り返し衝撃による損傷発生における衝撃1回あたりの損傷度(d)をピーク加速度および速度変化の2要因から定義。
- ・ 包装容器の違いや緩衝材の違い、あるいは包装容器内における部位の違いに確実に対応する高精度な緩衝包装が設計できる。

研究の内容

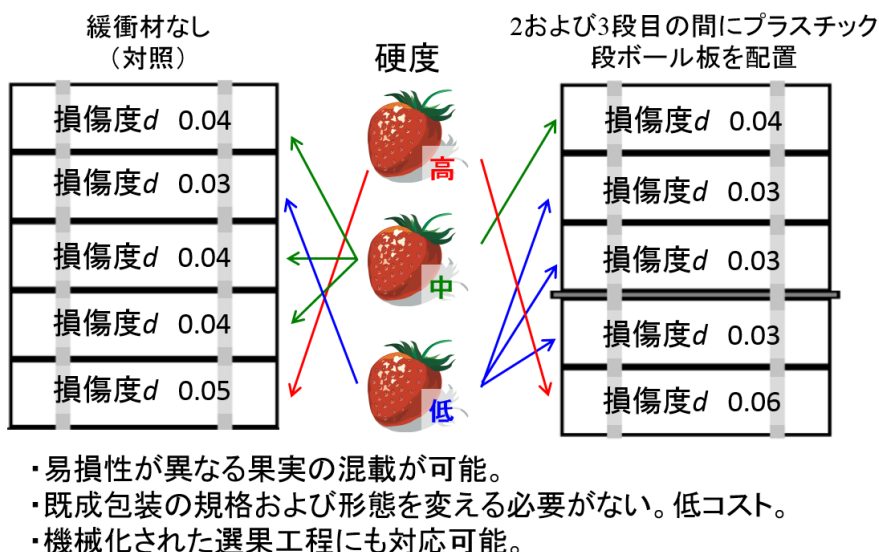


図. 各段において推定される d の制御による、異なる蓄積疲労損傷特性を有するイチゴ果実の混載方法の提案

今後の展開

- ・ 既成の包装形態およびその規格を利用可能な低コスト緩衝包装設計
- ・ イチゴ以外の品目への応用

参 考

- ・ 北澤裕明.「繰り返し衝撃による被包装物の蓄積疲労損傷評価に関する研究」
神戸大学博士論文. 2015.

※本研究は、農林水産省食料生産地域再生のための先端技術展開事業「被災地における農産物加工技術の実証研究」の一部として実施した。